

# 明日を拓く



お話を伺った山形さん

クラインガルテンで9年暮らす山形 隆彦(70歳)さん

## ここに住んで感想は

空気、景色が素晴らしい!!

初めてここに来たとき、鍬ひとつ持ったことが無かった。あるとき畑に水をまいていたら、この住人がそんな水やりの仕方なら、野菜を作れるようになるまで5年はかかると言われ、なにくそと一念発起し本を読んだり、教えてもらいに行ったりして勉強した。昨年は前年の芋づるから苗を作って「あんのう

いもを栽培したが、良い芋ができた。苗を近所に配って作ってもらったが評判が良かった。人間は野菜を食べなきゃいけない、ここに来て健康になった。はで干しのおいしい米もあるし、広島に居たときはパン食だったが、今は毎日ご飯を食べている。おかげで元気で長生きしている。

## 川の奥の川には

ウォシュレットが完備されているのがうれしかった。きつと皆喜んでいると思う。

それと規律があまり厳しくないこと、ここは居心地がいい、行事が多いところは拘束されることが多いが、負担感のない程度のかかわり合いがあつて気楽に過ごせる。

## 友達が来たら連れて行きたいところは

うぐいす茶屋にそばを食べに行く、近くの温泉めぐりも定番だ。

## 地域に望むこと

買い物不便なのでスーパーがほしい。買い物には大田の

ジャスコに行っているが雪が降ると出たくない。

この町のいいところを色々なメディアを使って全国に発信すべきだ。若い人がやってきて興味を持つものが不足していると感じるので、探して見てはどうか。

広大な土地があるんだから、公園墓地を作って桜やもみじを植栽し、安価に樹木葬などをやったらどうか。この町にはお寺さんも沢山あるし。



家庭菜園の楽しめるクラインガルテン

## 今月の表紙写真



「はい、お待ちどうぞ」と笑顔でホクホクの焼き芋を手渡しする場面に遭遇してパチリと一枚。昨年10月末に三次市にオープンした飯南町アンテナショップ「iまるシェ」の店頭では、こうした対面販売が土・日・祝日を中心に行われています。アンテナショップの役割は「伝える」ということ。飯南地域の情報・文化をはじめ、製品の味をお客様に対面で伝えていきます。焼き芋のようにホットな味を伝えていきましょう。

## 編集後記

新年あけましておめでとうござい  
ます。

昨年12月議会では5人の議員が財政、農業政策、基幹支所などについて一般質問しました。

とくに、農業に関する問題では、農地集積や就農支援する人・農地プラン、米の生産調整を5年後の廃止、日本型直接支払制度の創設など、活発な論戦がありました。

本町の基幹産業である農業に、これからどう対応していくか、課題が山積しています。

この一年町民の皆様にとりましてよりよい年でありますようお願い申し上げます。

議会広報編集委員会 永井 章